

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者が重度化し、地域行事へ参加する機会から遠のいていた。毎回声はかけてもらうものの、管理者のみが地域行事に顔を出している状況が続いていた。	新規入居の方が活動的なので、サロンや敬老会、小学校の行事などにも積極的に参加したい。 暖かくなる頃、いきいきサロンに参加することから初め、敬老会、小学校の行事にも参加したい。	・暖かくなる頃から、毎月開催している地域のいきいきサロンに、参加する。 ・5月に開催される、地区の敬会に参加する。 ・小学校の音楽会・運動会に参加する。	6ヶ月
2	35	避難誘導訓練は毎年2回実施しているが、グループホームの玄関にスロープが無く、緊急のとき避難が遅れることも予想される。また、現状では非常食の備蓄なども行っていない。	玄関に車椅子が容易に昇降できる常設のスペースを設置する 最低3日分の食料を備蓄する	・法人本部に、再度常設スロープ設置を依頼する。 ・3日分の食料、水を備蓄する。停電に備えカセットコンロも準備する。	6ヶ月 3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。